

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて —「労働政策セミナー・政策討論集会」を開催—



平井鳥取県知事(上段)の講演の様子

7月1日(土)、倉吉未来中心に組合員と連合鳥取推薦議員156人(内、女性19人、参画率12.2%)が参加し、「労働政策セミナー・政策討論集会」を開催しました。鳥取県知事・平井伸治さんと連合総合政治局長・井村和夫さんを講師に迎えた講演会、民進党鳥取県支部連合会副代表・湯原俊二さんによる活動報告と、「2018連合鳥取政策・制度要求(素案)」の提起・討論を行いました。

最初に主催者を代表して本川博孝会長が、「政策制度要求は、しっかりとみなさんに議論していただき、地域に根ざした身近な政策要求を連合鳥取としてとりまとめたい。また、湯原俊二総がかり行動に取り組んでいる。引き続き組合員のみなさんのご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

【労働政策セミナー】
 ■講演 平井伸治鳥取県知事
 「住みやすいふるさと鳥取を目指して」
 冒頭、昨年の中部地震について、「連合鳥取のみなさんをはじめとする県民の絆が復興に大きく寄与している」と支援へのお礼を述べられました。また、「今回の中部地震を教訓に、災害時の支えあいを活かすために新しく条例を策定した。あわせて、働き方改革はいろんな知恵を出して取り組んでいかないとけない。連合鳥取のみなさんとも連携して取り組んでいる。正規雇用を1万人作るという施策は2年経った今、5600人の正規雇用の受け皿ができた。地方創生の施策では、鳥取県の魅力を活かした移住促進に取り組んでいる。鳥取市は住みたい田舎ランキングの1位となった。中小企業の経営革新として、後継者不足に悩むマッチングを進めるなど施策も進めている。また、素晴らしい自然を生かした『星取県』の取り組みを始めた。今後も新しい鳥取県を作っていく施策を進めていきたい」と講演されました。

■講演 井村総合政治局長
 「私たちの暮らしと政治」
 ① 東京都知事選は都民ファーストが席卷しそうな勢いである、② 都議選にもかかわらず国政の話題ばかりが論点になっている、③ 既存政党の自民党や民進党は大きく議席を減らしそう、など今後の政治情勢を分かりやすく説明されました。

■活動報告 民進党県連
 副代表 湯原俊二さん
 「毎朝7時から9時と夕方5時から7時に街頭演説と街宣を、日中は選挙区の個別訪問を毎日数百軒行っている。毎日続けることでみなさんの支援をいただけるようにしたい。また主な政策では教育にかけると予算が日本は先進国の中でも少なく、親の所得が高いほど進学率が高い。子育て教育予算を先進国並みにすることが重要」と訴えました。

【政策討論集会】
 「連合鳥取2018年度政策・制度要求」について、連合鳥取の田中穂事務局長が要点を絞って説明し、あわせて要求の作成意図・経過などについて担当責任者の寺谷昭人副会長、矢田仁志執行委員、米村徹執行委員、里田斉昭執行委員が説明しました。今後、「第8回(拡大)執行委員会(7月20日)」で成案を得た後、8月に鳥取県知事へ要求し、その後、具体的対応について部局交渉を実施することとなります。

【今後の日程】
 ・8月9日 知事へ要求書提出
 ・8月下旬〜9月上旬 部局交渉

政治を身近に感じて今後の組合活動に活かしていこう

—国会見学弾丸ツアーに19人が参加—

7月20日(木)深夜、東京に向け鳥取を出発、22日(土)夜帰着というハードなスケジュールで、青年委員会メンバーを中心に「国会見学」を実施しました。

<国会見学>

小林正夫参議院議員(電力総連)の紹介で、参議院見学を行いました。参議院は、衆議院とともにわが国唯一の立法機関であり、法律案や予算の審議、条約の審査が行われる議場や、伊藤博文初代内閣総理大臣などの彫刻の置かれた中央広間などを直接見る事ができ、貴重な体験となりました。

<民進党議員との意見交換>

石上俊雄参議院議員(電機連合)より①6月18日まで開催された「第193通常国会」での法案の成立状況や注目された法案の内容、②連合組織内議員懇談会での報告—などについて説明を受けました。

その後、5人の参加者から出された、社会保障制度やエネルギー政策などについての質問に対し、丁寧にわかりやすく回答をいただきました。中でも、遅くとも来年12月には実施される「衆議院議員選挙」については、「民進党として他の政党との対立軸をいかに立てていくか、方策を出して、イメージをどう作っていくかが必要」と訴えられました。

<参加者の声>

- ・議事堂内の見学など非常に貴重な経験となり参加して良かった。
- ・国会議員の方の直接の声が聞けて良かった。
- ・バスでの移動は大変だったが、それ以上に得るもののある国会見学だった。
- ・国会見学と連合の組織内議員と意見交換することによって、より身近に政治を感じる事ができた。



国会議事堂前にて



石上俊雄参議院議員(写真上)と意見交換



小林正夫参議院議員事務所を訪問

将来に向け共通の課題について意見交換

—韓国・江原道地方労働委員会勤労者委員を招聘—

連合鳥取は7月4日(火)から7日(金)にかけて、労働界の交流の一環として、韓国・江原道地方労働委員会の勤労者委員を招聘し、金林亨(キム・イムヒョン)韓国労働組合総連盟江原地域本部議長をはじめ5人の労働組合幹部が来鳥しました。一行は、平井伸治鳥取県知事を表敬訪問するなど、鳥取県について見聞を深めました。

また、5日(水)にはとりぎん文化会館において、連合鳥取役員と単組役員、鳥取県労働委員会委員と「研究交流会」を開催しました。初めに、「韓国労働運動の未来戦略」と題し、金議長から、韓国の労働運動の歴史と現在の労働情勢・課題について講演をいただきました。「リストラによる失業率の増大」「非正規労働者問題」「労働時間短縮」など、日本と同じような課題を抱える韓国で、①労働組合の唯一の武器である「交渉と闘争」を駆使した動員(現場の力)、②連帯(皆と共に)、③参加(政策制度の改善)—の戦略で、「労働が尊重される平等福祉国家」をめざし取り組んでいく決意を述べられました。その後、参加者からの質問に丁寧に答え、活気あふれる意見交換の場となりました。

6日(木)には、連合鳥取の構成組織である「紙パ連合・王子製紙新労働組合米子支部」の協力により、王子製紙(株)米子工場の視察を行いました。



知事公邸にて



「研究交流会」の様子



王子製紙(株)米子工場の視察

連合と労働組合をPRするため、「ゆるキャラグランプリ2017」に立候補したので応援をお願いします!

連合公式キャラクター「ユニオニオン」だよ。

ゆるキャラグランプリ 2017

ユニオニオン 1日1回 初立候補!

スマホ・携帯・パソコンから 毎日投票 お願いします!

投票期間は 8/1(火) 10:00 ~ 11/10(金) 18:00

投票はこちらから

※ゆるキャラグランプリ ユニオニオン 投票

※投票のAID登録が必要

倉吉市議会議員・北栄町議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は「第8回(拡大)執行委員会(2017.7.20)」において、本年10月1日(日)投開票日の倉吉市議会議員・北栄町議会議員選挙に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

組合員のみなさまはもとより、ご家族、友人、知人のみなさまからのご支援をよろしくお願いします。

<倉吉市議会議員選挙>



福井 康夫(ふくい やすお)さん
(67歳/現8期/民進党・公認)



中野 隆(なかの たかし)さん
(65歳/現4期/民進党・公認)

告示日：9月24日(日)

<北栄町議会議員選挙>



津川 俊二(つがわ しゅんじ)さん
(58歳/現5期/民進党・公認)

告示日：9月26日(火)

連合の歴史と意義を再確認&加盟産別の交流・連帯強化 —西部地協「第4期労働大学」に45人参加—

西部地協は7月15日(土)、「第4期労働大学」を米子コンベンションセンターにおいて開催しました。

今回、「労働大学」を開催するにあたり、役員が全体的に若くなっており、「『労働委員会』について聞いたことはあるが内容についてはわからない」という意見が多くあり、労働者委員でもある連合鳥取の本川博孝会長に講師を要請し、①労働委員会の役割、②相談事例の紹介を含めて講義を受けました。

「労働組合のある職場では考えられない労働争議が身近である」ということがよくわかり、私たち組織労働者の任務をあらためて認識したところです。

次に、連合結成28年目を迎え、連合発足の意義も知らない世代が多くなっていることを踏まえ、「連合発足までの経過」を佐貫馨事務局長が、戦後労働運動を支えた労働4団体から1989年11月の連合発足までの経緯を含めて説明しました。

最後の「産別紹介」では、事前に各産別から提出してもらった資料に基づき、「加盟単組」および「主な取り組み」について18産別の代表に報告いただきました。①産別はわかっているが加盟組合はどこなのか、②どういう運動を行っているのか—、組合役員でも知らない中で非常に参考となりました。



女性委員会「産別交流会」

女性委員会は7月23日(日)、倉吉未来中心において「産別交流会」を開催し、各産別より20人の参加がありました。

前半は『私の、私らしい時間』というテーマでグループワークを行いました。各々の普段の生活と理想の生活を比較して、自分らしい生活はどういったものかを話し合いました。

後半は、講師の高本徳子先生(アール・ツーエージェンシー所属)によるイメージアップセミナーを行いました。すぐに実践できる綺麗な姿勢、歩き方、笑顔等のポイントを教えていただきました。

2時間という短時間でしたが、自分らしさ、女性らしさを磨く良い機会となりました。

(寄稿 女性委員会幹事 國政尚子さん)



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取 / 労組リーダーセミナー

- ◆日時 2017年8月26日(土) 10時00分~16時00分(終了予定)
- ◆場所 まなびタウンとうはく(東伯郡琴浦町徳万266-5)
- ◆内容
 - ①ファシリテーション研修会
 - ・組織とは 組織を代表する人たちの役割
 - ・「労働組合」とは何か 「労働組合」運営の難しさ
 - ②講演 「連合評価委員会最終報告から14年—労働組合の現状と課題(仮)」
講師/中央労福協アドバイザー 山本 幸司 さん
 - ③グループ討議
- ◆その他
 - ①託児室を設置します。(事前申し込み)
 - ②参加者には昼食(弁当)を準備します。
 - ③産別を通じてご案内しています。



参加申込め切
8月10日(木)

ワークルール検定 2017秋・初級 鳥取県開催決定!!

- ◆日時 2017年11月23日(木・勤労感謝の日) 10時00分~12時00分 (9時20分 受付開始)
- ◆場所 白兔会館(鳥取市末広温泉町556)
- ◆その他 産別を通じてご案内します。



ワークルール検定とは

労働基準法や労働組合法などの法律や、休日や賃金、解雇など、職場で問題になりやすいワークルールに関する一般的な知識を問う検定試験。

厚労省も後援!
ワークルール検定に
挑戦しよう

11月23日
(木・祝)



問合せ (一社) 日本ワークルール検定協会 ☎03-3254-0545 <http://workrule-kentei.jp/index.php>



湯原俊二

— 緑肥の想い —

- *組合行事に湯原さんと呼んでください。
- *湯原さんの想いを直接聞いてください。
- *そして、私たちの声も湯原さんに届けましょう。



7/1 倉吉未来中心



7/2 北条砂丘



7/7 組合事務所

支援の輪を
広げましょう



7/15 米子コンベンションセンター



7/18 まなびタウンとうはく



7/27 まなびタウンとうはく

7/28 米子市公会堂

facebookにログインして
湯原俊二さんとつながりましょう!



“ザ・議員”

勝田 鮮二

鳥取市議会議員

常日頃より組合員のみなさんには、大変お世話になっております。

今夏7月に千代水の認定子ども園に視察でお伺いし、話を聞く機会がありました。

保育士不足が取り沙汰される中、現在24人のスタッフがおられ、0～5才児・計110人を受け入れられています。

市内において、屈指のマンモス園で最高235人可能とのことですが、保育士が不足しているそうです。この園は“学び”を中心に、より良い環境の中で育てれば、子どもさんの才能が開花する確率が高くなるとの事。

また、子どもにさせたい習い事ランキングは、1位⇒スイミング、2位⇒英語・英会話、3位⇒学習・幼児教育で、この園では、この全てが出来ちゃう！総合保育園との話には正直驚きました。

本市においても、保育士・待機児童問題など子育て支援に、今後もしっかりと取り組んでまいります。



鳥取市・認定こども園にて

津川 俊仁

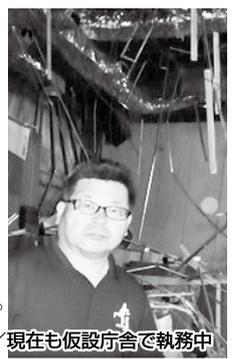
北栄町議会議員

今年10月、議会議員の改選が行われます。これまでの町議会議員の活動に対しましてのご支援に対し、お礼申し上げます。現在、議会選出の町監査委員、総務委員会委員として活動しています。

先の7月初旬、総務委員として、熊本県益城町及び御船町における熊本地震による震災対応および復興の現状と課題について研修に行きました。

益城町の状況は聞いていた以上に厳しく、現在も、町民3万5千人のうち、仮設住宅に3,900人、みなし仮設に3,700人お住まいで、庁舎も仮設で、町職員の負担が多く心労を患う人もいて、まだまだ復旧・復興には程遠い状況でした。

鳥取中部地震で被災した私たちも、復旧・復興に向けての活動を強化し、災害に対する自助・公助・共助の確立に向けて、意識改革を進めることが必要だと強く感じました。



益城町庁舎内議場の様子 / 現在も仮設庁舎で執務中

ひとり言

「ひとり言」その二

「貧しい人がいて、かわいそうな人がいて、助けてあげないといけない」

格差とか貧困を他人事のように議論してきたのではないだろうか。

「貧困に陥るかもしれない、いろいろな困難が降りかかるかもしれない」

そんなリスクを少しでも自分のこととして感じるがあったらどうか。

「憲法は望めば誰でも働くことが保障されている」

絆社会と無縁社会、勝ち組と負け組、結局行きつく先は競争社会。「特定秘密保護法」が情報公開を阻み、「共謀罪」が個人情報等をさらけ出してしまう。許されて良いはずがない。

「社会が寛容さを失い、異なる価値観に対して攻撃的になっている」

意見を述べ合い批判し合う自由こそが大切だ。

「反対や抵抗にはそれなりの理由がある」

周りに気づかずに、もしかしたら自分は間違っているかもしれないという「自制心」が必要だ。

「恋い焦がれる」

大切な人に心配りをする。一緒に暮らすパートナーのつらい心を想像し寄り添う。一途に思い望むこと。

今日もまた「ひとり言」ひとり言じゃ世の中変わらぬ。大きな声を出してみるか。悪いことばかりじゃないから。

(まだまだ小僧)

